

平成24年3月期 第3四半期連結決算概要

1. 連結の範囲

項目	平23年3月期	平23年12月期	対前期増減
連結子会社数	66社	67社	+1社
持分法適用会社数	24社	25社	+1社
合計	90社	92社	+2社

台湾宇部 設立、UBE Automotive(Sarnia) 清算 他
AET、SUMaterials 設立、西沖ユーティリティ清算

2. 業績概要

(1) 経営成績

(単位:億円)

注: 億円未満切捨て

項目	前年第3四半期 (H22. 4~H22. 12)	当第3四半期 (H23. 4~H23. 12)	増減
売上高	4,524	4,709	185
営業利益	306	350	44
金融収支	△ 27	△ 23	4
持分法投資損益	10	9	0
その他営業外損益	△ 26	△ 25	0
経常利益	262	311	49
特別利益	7	2	△ 4
特別損失	△ 17	△ 16	1
四半期純利益	150	194	44

[H23/12期 特別損失 △16 の内訳]

投資有価証券評価損	△ 10
その他	△ 5

1株当たり四半期純利益	14円96銭	19円35銭	4円39銭
-------------	--------	--------	-------

為替レート(円/\$)	86.8	79.0	△ 7.8
ナフサ価格(円/KL)	45,800	55,200	9,400
豪州炭価格(円/t)*	10,477	11,400	923

*豪州炭(CIF)

[セグメント別 売上高・営業利益]

(単位:億円)

項目	セグメント	前年第3四半期 (H22. 4~H22. 12)	当第3四半期 (H23. 4~H23. 12)	増減
売上高	化成品・樹脂	1,492	1,741	249
	機能品・ファイン	512	488	△ 23
	医薬	64	69	4
	建設資材	1,498	1,546	47
	機械・金属成形	601	486	△ 114
	エネルギー・環境	431	460	29
	その他	193	198	4
	調整額	△ 270	△ 281	△ 11
	合計	4,524	4,709	185
営業利益	化成品・樹脂	117	194	76
	機能品・ファイン	65	51	△ 13
	医薬	16	21	4
	建設資材	64	58	△ 6
	機械・金属成形	12	7	△ 4
	エネルギー・環境	26	25	△ 1
	その他	9	8	0
	調整額	△ 7	△ 15	△ 8
	合計	306	350	44

販売価格上昇 他
販売価格低下 他
販売数量増 他
セメント・生コン 販売数量増、廃棄物処理収入増 他
アルミニウム事業撤退、産機出荷減 他
販売炭・売電価格上昇 他

カブ ロラクタムスプレッド (製品と原料の値差) 拡大 他
販売価格低下 他
販売数量増 他
エネルギーコスト上昇、カー販売数量減 他
産機出荷減・採算性悪化 他

一般管理費増 他

(注) 営業利益の調整額は、セグメントに配賦していない全社費用及びセグメント間取引消去額の合計。

(2) 財政状態

(単位:億円)

項目	前期末 (H23. 3末)	当第3四半期末 (H23. 12末)	増減
総資産	6,615	6,710	95
有利子負債 (純有利子負債)	2,605 (2,110)	2,676 (2,326)	70 (216)
自己資本	1,870	1,958	88

(3) キャッシュ・フローの状況

(単位:億円)

項目	当第3四半期 (H23. 4~H23. 12)	前第3四半期 (H22. 4~H22. 12)
営業活動CF	162	302
投資活動CF	△313	△192
財務活動CF	12	△123

税引前四半期純利益 297、減価償却費 243
 運転資金増減 △259、法人税等支払 △75 他
 有・無形固定資産の取得 △314 他
 有利子負債増減 76、配当金支払△54 他

3. 通期業績予想

平成23年11月2日に発表した業績予想に変更はありません。

(単位:億円)

	平23年3月期	平24年3月期	増減
売上高	6,160	6,620	460
営業利益	443	500	57
経常利益	391	445	54
特別損益	△103	△40	63
当期純利益	172	240	68
1株当たり当期純利益	17円18銭	23円87銭	6円69銭
年間配当金	5.0円	5.0円	0

〔参考〕連結主要指標

(単位:億円)

項目	前第3四半期 (H22. 4~H22. 12)	当第3四半期 (H23. 4~H23. 12)	当通期予想 (H23. 4~H24. 3)	前年通期 (H22. 4~H23. 3)
設備投資	213	309	430	353
減価償却費	247	243	332	331
研究開発費	100	100	140	137
事業利益	325	368	520	470
有利子負債残高	2,736	2,676	2,520	2,605
純有利子負債残高	2,382	2,326	2,220	2,110
自己資本	1,867	1,958	2,050	1,870
総資産	6,663	6,710	6,750	6,615
ネットD/Eレシオ(倍)	1.3	1.2	1.1	1.1
自己資本比率(%)	28.0	29.2	30.4	28.3
売上高営業利益率(%)	6.8	7.4	7.6	7.2
総資産事業利益率(%)	-	-	7.8	7.2
自己資本利益率(%)	-	-	12.2	9.4
従業員数(人)	11,143	11,193	11,250	11,026



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年2月3日
上場取引所 東・福

上場会社名 宇部興産株式会社
コード番号 4208 URL <http://www.ube.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹下 道夫
問合せ先責任者 (役職名) IR広報部長 (氏名) 坂本 靖子 (TEL) 03-5419-6110
四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	470,977	4.1	35,069	14.6	31,169	18.7	19,452	29.4
23年3月期第3四半期	452,449	13.6	30,612	66.4	26,261	117.8	15,036	180.5

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 14,193百万円 (10.2%) 23年3月期第3四半期 12,883百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	19.35	19.32
23年3月期第3四半期	14.96	14.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	671,091	220,164	29.2
23年3月期	661,512	211,449	28.3

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 195,865百万円 23年3月期 187,014百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—	0.00	—		
24年3月期 (予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	662,000	7.5	50,000	12.7	44,500	13.8	24,000	39.0	23.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

除外 1社 (社名) ウベ・オートモーティブ・ノース・アメリカ・サーニア・プラント, インコーポレーテッド

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期3Q	1,009,165,006株	23年3月期	1,009,165,006株
----------	----------------	--------	----------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	3,890,800株	23年3月期	3,824,295株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

24年3月期3Q	1,005,292,069株	23年3月期3Q	1,005,332,740株
----------	----------------	----------	----------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料及び添付資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化により見通しと大きく異なる場合もありえますことをご承知願います。そのような要因としては、主要市場の経済状況、製品の需給、原燃料価格、金利、為替相場などがあります。

※ 当社は、以下のとおりネットコンファレンスを開催する予定です。当日の資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成24年2月3日(金)・・・アナリスト、機関投資家向けネットコンファレンス

【添付資料の目次】

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の経済情勢は、アジアでは中国をはじめとして一定の景気拡大が継続しましたが、金融引き締め策の影響などによりその勢いは鈍化しており、また欧米では景気回復の度合いが極めて弱く、欧州の財政不安が金融資本市場に影響を及ぼし、失業率も高止まるなど、世界経済は景気の下振れ懸念が強まり、不透明な環境が続きました。

一方国内経済は、東日本大震災によるサプライチェーンの混乱も、その立て直しが比較的順調に進み、景気は持ち直し傾向にあるものの、円高や海外需要の停滞などにより、厳しい環境が続きました。

このような状況の下、当社グループは2010年度から2012年度の三カ年の中期経営計画「ステージアップ2012―新たな挑戦―」の基本方針に基づき、その二年目として目標の早期達成に向け更なる業績の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当社グループの連結売上高は前年同期に比べ185億2千8百万円増の4,709億7千7百万円、連結営業利益は44億5千7百万円増の350億6千9百万円、連結経常利益は49億8百万円増の311億6千9百万円、連結四半期純利益は44億1千6百万円増の194億5千2百万円となりました。

項目	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結四半期純利益
当第3四半期	4,709億円	350億円	311億円	194億円
前年同期	4,524億円	306億円	262億円	150億円
増減率	4.1%	14.6%	18.7%	29.4%

セグメント別の概況は以下のとおりです。

化成品・樹脂セグメント

アジア市場の旺盛な需要に支えられ高騰し続けたナイロン原料のカプロラクタムは、秋口以降、景気減速懸念などから市況が悪化しましたが、スプレッド（製品と原料の値差）は前年同期を大きく上回りました。ポリブタジエン（合成ゴム）、ナイロン樹脂は、原料調達や自動車向け需要などの面で懸念された東日本大震災やタイ洪水の影響が軽微にとどまり、堅調に推移しました。一方で、9月末に発生したアンモニア製造設備のトラブルが、工業薬品をはじめカプロラクタムチェーンの各製品に影響を及ぼしました。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ249億4千7百万円増の1,741億6千8百万円、連結営業利益は76億3千4百万円増の194億1千8百万円となりました。

項目	連結売上高	連結営業利益
当第3四半期	1,741億円	194億円
前年同期	1,492億円	117億円
増減率	16.7%	64.8%

機能品・ファインセグメント

薄型ディスプレイをはじめ電子情報材料分野の需要不振のため、ポリイミド等、多くの製品で出荷が伸び悩み、価格も低下しました。またファインケミカル製品は、東日本大震災や円高の影響も受けました。リチウムイオン電池用の電解液・セパレーターは、出荷は伸長しましたが、価格低下が進みました。セラミックスは軸受、切削工具向けなどを中心に堅調でした。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ23億9千5百万円減の488億5千2百万円、連結営業利益は13億7千万円減の51億8千万円となりました。

項目	連結売上高	連結営業利益
当第3四半期	488億円	51億円
前年同期	512億円	65億円
増減率	△4.7%	△20.9%

医薬セグメント

自社医薬品の抗アレルギー剤や抗血小板剤を中心として、原体・中間体の販売は順調に伸長しました。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ4億6千4百万円増の69億3千1百万円、連結営業利益は4億2千5百万円増の21億1千9百万円となりました。

項 目	連結売上高	連結営業利益
当第3四半期	69億円	21億円
前年同期	64億円	16億円
増減率	7.2%	25.1%

建設資材セグメント

セメント・生コン、建材製品の販売は、マンション・住宅着工や企業の設備投資が持ち直すとともに、復興需要も出始めたことにより増加しましたが、エネルギーコスト上昇の影響を受けました。旺盛な海外需要を取り込み、セメント製造設備はフル稼働を維持し、各種廃棄物の原燃料へのリサイクル利用も拡大しました。カルシア・マグネシア製品の販売は、カルシア製品が粗鋼生産等の落ち込みの影響を受け、全体では販売が低調でした。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ47億4千5百万円増の1,546億3千5百万円、連結営業利益は6億5千9百万円減の58億7百万円となりました。

項 目	連結売上高	連結営業利益
当第3四半期	1,546億円	58億円
前年同期	1,498億円	64億円
増減率	3.2%	△10.2%

機械・金属成形セグメント

自動車産業向けを中心とする成形機は出荷、受注ともに増加しました。堅型ミルや運搬機等の産業機械の受注は前年同期並みでしたが、出荷は減少しました。成形機、産業機械ともに円高や国内外メーカーとの価格競争の激化等により採算は厳しい状況が続きました。製鋼品の出荷は堅調でしたが、円高の影響を受けました。

この結果、当セグメントの連結売上高は、昨年3月に決定したアルミホイール事業からの撤退の影響もあり、前年同期に比べ114億5千9百万円減の486億7千5百万円、連結営業利益は4億7千6百万円減の7億6千5百万円となりました。

項 目	連結売上高	連結営業利益
当第3四半期	486億円	7億円
前年同期	601億円	12億円
増減率	△19.1%	△38.4%

エネルギー・環境セグメント

石炭事業は、販売炭、電力会社向けを中心とする預り炭ともに需要堅調ながら、コールセンター（貯炭場）の受入れ余力不足が続き、取扱い数量は前年同期を下回りました。電力事業は、燃料である石炭価格は上昇したものの、売電価格の上昇もあり堅調でした。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ29億1千4百万円増の460億8千5百万円、連結営業利益は1億8千9百万円減の25億7百万円となりました。

項 目	連結売上高	連結営業利益
当第3四半期	460億円	25億円
前年同期	431億円	26億円
増減率	6.7%	△7.0%

その他のセグメント

その他の連結売上高は、前年同期に比べ4億8千4百万円増の198億1千8百万円、連結営業利益は9千7百万円減の8億1千万円となりました。

項 目	連結売上高	連結営業利益
当第3四半期	198億円	8億円
前年同期	193億円	9億円
増減率	2.5%	△10.7%

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は前年度末に比べ、現金及び預金が146億4千4百万円減少しましたが、商品及び製品などのたな卸資産が154億1千5百万円増加したことなどにより流動資産が91億2千9百万円増加し、有形固定資産が12億7千2百万円減少する一方、投資その他の資産が19億8百万円増加したことなどにより固定資産が3億8千1百万円増加した結果、95億7千9百万円増加し、710億9千1百万円となりました。

負債については、支払手形及び買掛金が22億3百万円減少する一方、有利子負債が70億2千6百万円増加したことなどにより8億6千4百万円増加し、509億2千7百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定が51億3千4百万円減少する一方、四半期純利益などにより利益剰余金が144億1千7百万円増加した結果、87億1千5百万円増加し、201億6千4百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期業績予想につきましては、平成23年11月2日に公表しました業績予想に現時点で変更はありませんが、前回予想を公表して以降、化成品・樹脂製品の市況が急速に悪化し、また機能品・ファイン製品の需要回復も遅れておりますことから、今後の動向を引き続き精査し、必要となりました場合には修正いたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結子会社であったウベ・オートモーティブ・ノース・アメリカ・サーニア・プラント、インコーポレーテッドは第2四半期連結会計期間中に清算終了したため、連結の範囲から除外しました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用する方法により計算した金額を計上しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,711	35,067
受取手形及び売掛金	134,914	143,302
商品及び製品	30,093	39,951
仕掛品	16,808	20,657
原材料及び貯蔵品	26,346	28,054
その他	24,207	24,188
貸倒引当金	△378	△389
流動資産合計	281,701	290,830
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	86,750	86,229
機械装置及び運搬具(純額)	118,098	121,224
土地	82,604	82,515
その他(純額)	26,493	22,705
有形固定資産合計	313,945	312,673
無形固定資産		
その他	4,988	4,733
無形固定資産合計	4,988	4,733
投資その他の資産		
投資有価証券	33,684	33,597
その他	29,308	31,248
貸倒引当金	△2,132	△2,077
投資その他の資産合計	60,860	62,768
固定資産合計	379,793	380,174
繰延資産	18	87
資産合計	661,512	671,091

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	89,135	86,932
短期借入金	96,859	96,385
コマーシャル・ペーパー	3,000	9,000
1年内償還予定の社債	40	15,000
未払法人税等	5,405	8,004
賞与引当金	7,435	3,801
その他の引当金	1,091	774
その他	46,736	47,460
流動負債合計	249,701	267,356
固定負債		
社債	15,100	15,100
長期借入金	144,082	130,618
退職給付引当金	7,026	6,663
その他の引当金	6,128	5,664
負ののれん	2,232	2,119
資産除去債務	1,121	1,141
その他	24,673	22,266
固定負債合計	200,362	183,571
負債合計	450,063	450,927
純資産の部		
株主資本		
資本金	58,435	58,435
資本剰余金	28,451	28,451
利益剰余金	114,817	129,234
自己株式	△783	△794
株主資本合計	200,920	215,326
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,152	791
繰延ヘッジ損益	△161	△221
為替換算調整勘定	△14,897	△20,031
その他の包括利益累計額合計	△13,906	△19,461
新株予約権	387	447
少数株主持分	24,048	23,852
純資産合計	211,449	220,164
負債純資産合計	661,512	671,091

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	452,449	470,977
売上原価	364,971	377,769
売上総利益	87,478	93,208
販売費及び一般管理費	56,866	58,139
営業利益	30,612	35,069
営業外収益		
受取利息	312	371
受取配当金	606	498
受取賃貸料	1,387	905
負ののれん償却額	133	123
持分法による投資利益	1,025	961
その他	1,634	1,968
営業外収益合計	5,097	4,826
営業外費用		
支払利息	3,662	3,172
賃貸費用	1,478	932
為替差損	563	810
その他	3,745	3,812
営業外費用合計	9,448	8,726
経常利益	26,261	31,169
特別利益		
固定資産売却益	198	187
持分変動利益	421	—
負ののれん発生益	—	59
貸倒引当金戻入額	58	—
受取補償金	55	12
特別利益合計	732	258
特別損失		
固定資産処分損	285	428
減損損失	385	49
投資有価証券評価損	20	1,047
特別退職金	16	—
関連事業損失	157	122
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	900	—
特別損失合計	1,763	1,646
税金等調整前四半期純利益	25,230	29,781
法人税等	9,088	9,575
少数株主損益調整前四半期純利益	16,142	20,206
少数株主利益	1,106	754
四半期純利益	15,036	19,452

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	16,142	20,206
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△363	△384
繰延ヘッジ損益	△10	△58
為替換算調整勘定	△2,778	△5,430
持分法適用会社に対する持分相当額	△108	△141
その他の包括利益合計	△3,259	△6,013
四半期包括利益	12,883	14,193
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,947	13,897
少数株主に係る四半期包括利益	936	296

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	25,230	29,781
減価償却費	24,729	24,347
減損損失	385	49
負ののれん償却額	△133	△123
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△332	△43
受取利息及び受取配当金	△918	△869
支払利息	3,662	3,172
為替差損益 (△は益)	△488	208
持分法による投資損益 (△は益)	△1,025	△961
関連事業損失	157	122
固定資産売却損益 (△は益)	△204	△142
売上債権の増減額 (△は増加)	△10,243	△9,460
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△9,178	△16,422
仕入債務の増減額 (△は減少)	12,055	△95
その他	△7,327	△4,263
小計	36,370	25,301
利息及び配当金の受取額	1,154	1,107
利息の支払額	△3,135	△2,681
法人税等の支払額	△4,131	△7,513
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,258	16,214
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△19,453	△31,404
有形固定資産の売却による収入	1,092	731
投資有価証券の取得による支出	△94	△737
投資有価証券の売却による収入	18	40
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△846	△37
その他	64	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,219	△31,390
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△8,585	△1,071
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	3,000	6,000
長期借入れによる収入	18,335	5,226
長期借入金の返済による支出	△19,384	△17,376
社債の発行による収入	—	14,919
社債の償還による支出	△560	△40
配当金の支払額	△4,006	△5,016
少数株主への配当金の支払額	△312	△414
その他	△854	△990
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,366	1,238
現金及び現金同等物に係る換算差額	△612	△669
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,939	△14,607
現金及び現金同等物の期首残高	37,281	49,522
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,342	34,915

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	化成品・ 樹脂	機能品・ ファイン	医薬	建設資材	機械・ 金属成形	エネルギ ー・環境	その他	計		
売上高										
外部顧客への 売上高	140,186	48,542	6,467	146,806	59,432	33,505	17,511	452,449	—	452,449
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,035	2,705	—	3,084	702	9,666	1,823	27,015	△27,015	—
計	149,221	51,247	6,467	149,890	60,134	43,171	19,334	479,464	△27,015	452,449
セグメント利益 (営業利益)	11,784	6,550	1,694	6,466	1,241	2,696	907	31,338	△726	30,612

(注1) セグメント利益の調整額△726百万円には、セグメント間取引消去△63百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△663百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	化成品・ 樹脂	機能品・ ファイン	医薬	建設資材	機械・ 金属成形	エネルギ ー・環境	その他	計		
売上高										
外部顧客への 売上高	164,006	45,936	6,880	151,563	47,542	37,276	17,774	470,977	—	470,977
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,162	2,916	51	3,072	1,133	8,809	2,044	28,187	△28,187	—
計	174,168	48,852	6,931	154,635	48,675	46,085	19,818	499,164	△28,187	470,977
セグメント利益 (営業利益)	19,418	5,180	2,119	5,807	765	2,507	810	36,606	△1,537	35,069

(注1) セグメント利益の調整額△1,537百万円には、セグメント間取引消去△53百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,484百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。